

## 事例7-3

|      |                                                                              |           |                                                                  |
|------|------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------------------------------------|
| 取組名  | 誰もが気軽に集まれる居場所づくり～「なんとなくあつまるかい」～                                              |           |                                                                  |
| 町会名  | さとやまべとせんじ<br>里山辺兎川寺町会（里山辺地区）                                                 | 町会<br>データ | ・人口／249人<br>・世帯数／112世帯<br>・高齢化率／33.7%<br>・町会加入数／92世帯<br>・隣組数／10部 |
| 取組概要 | ○ 会員を定めず、幹事や代表も置かない、誰もが気軽に集まれる居場所として、「なんとなくあつまるかい」を毎月開催<br>○ 50～80代と幅広い世代が参加 |           |                                                                  |

## 背景・課題

- ・ 人間関係の希薄化などにより、町会の各種事業にも参加者が集まらない状況が続いていた。
- ・ そのため、誰もが気軽に集まり、交流できる場をつくる必要があった。

## 経過・取組内容

- ・ H29.3月、発起人が当時の町会長に依頼し、「なんとなくあつまるかい」開催のチラシを町会内に回覧した。
- ・ 会員は定めず、幹事や代表も置かない、誰もが気軽に集まれる居場所づくりを目指した。コンセプトは「得にも損にもならないが集まりましょう！」
- ・ 毎月最終土曜日午後5時から、兎川寺公民館を会場に開催。自分が飲みたいもの、食べたいものを持ち寄り、参加者が自由に話せる場としている。
- ・ 初回の参加者は10数名あったが、2回目は数名になってしまった。その際、通知が欲しいという声があったため、以降、発起人が通知を手書きで作成し、参加者に配布している。

## 成果・今後の展望等

- ・ 幹事や代表者などを置かないため、町会役員の負担は生じていない。
- ・ 50代から80代までの幅広い年代が集まることで、町会内の貴重な情報交換の場が生まれている。
- ・ 現役の町会長や役員も一参加者として参加するため、町会運営や行事の実施に関する悩みを、

先輩町会長等に気兼ねなく相談する機会にもなっている。

- ・ 会の通知は、発起人が継続して作成・配布しているが、80代と高齢のため、後継者づくりが課題である。
- ・ R7.7月には、100回目の開催を迎え、町会にとっては、今後も継続していくべき事業となっている。

定例会のご案内(54) 令和3年9月21日  
 「時：9月25日(土) 17時～、11月の2回」 なんとなくあつまるかい  
 コロナ感染者が本市で 0人→2人→0人(9月)と発表されています。このため、大手を振って「ゆるい」と言って通知を配りますので、今日は堂々(?)の開催です。  
 何ヶ月も、捨てネコが3匹も居ついて困っていると書きたが、その後の結果を知らせします。ある朝、その中の1匹が交通事故(=3匹逃げです)に合ってしまった。道路に横たわっていました。小学生の登校時間です。子供たちには見せられないと思い、お墓の横に一時置いたのですが、しばらくしたら、残りの2匹が「おい兄弟、おい、この所に寝ていて」「夜更けさう」と言って(お墓に近づいた)尾をしゃくも、くわえて我が家の方へ移動させていき、子供の前で、この子から、なかなかに可愛くないのだから、すぐお墓に連れて行ってね、涙の泣きは言いませんわ。

## 発起人手書きの開催通知

## 【ポイント】

- ▼ 役員や会員を決めないことで、誰もが気軽に集まれる居場所を緩やかに実現